

まず、はじめに

# ハザードマップで自宅の災害リスクを確認しよう

## ○ ハザードマップとは

ハザードマップとは、浸水や土砂災害の危険がある地域や災害発生時の避難先(指定避難所など)が示された地図のことで、災害のリスクがあるエリアに色が塗られています。ご自宅の場所の災害リスクをあらかじめ確認しておきましょう。

ハザードマップは、市町村ごとに作成しておりますので、お住まいの市町村のホームページで確認するか、市町村の防災担当課へお問い合わせください。



ハザードマップイメージ

ハザードマップは、以下の二次元コードから確認できます。



自宅の場所が色が塗られたエリア(災害リスク有)に位置する場合、

## 我が家のタイムラインを作成しよう

近年、台風などによる記録的な大雨が全国各地で相次ぎ、大規模な水害や土砂災害が発生しています。本県でも、平成27年9月関東・東北豪雨では約4,200人、令和元年東日本台風では約330人の方の避難が間に合わず、「逃げ遅れ」となっております。

こうしたことを防ぐため、平時のうちに、各家庭において逃げ遅れないためにやるべきことを確認しておく「**我が家のタイムライン**」を作成しておきましょう。

### 作成方法

① 名前を記入しましょう。

② 災害(浸水、土砂災害)がおきた時の避難先を記入しましょう。

※避難先は市町村の避難所へ。または、ハザードマップで色が塗られていない親戚・友人宅などへ。

③ 避難先までの移動手段を記入しましょう。

④ 避難先までのおおよその移動時間を記入しましょう。

⑤ 避難するときに持っていくものを○で囲みましょう。

⑥ 避難するタイミングを決めて○で囲みましょう。

- ・【警戒レベル3】高齢者等避難一緒に逃げる家族の中に、高齢者など避難に時間がかかる人がいる場合に選択。
- ・【警戒レベル4】避難指示上記以外の場合に選択。

### 我が家のタイムライン【共通版】

(1) 家

より、ハザードマップで我が家の災害リスクを確認し、点線に沿って丸で囲む。(両方の場合もある)

避難先 (避難所、親戚宅、友人宅)	避難先までの移動手段	避難先までの移動時間
②	③	④ 分

注意すべきこと 気象・避難情報の発令 逃げ遅れないためにやるべき

【警戒レベル1】  
[浸水害・土砂災害]  
気象：早期注意情報

【警戒レベル2】  
[浸水害]  
気象：大雨・洪水注意報  
河川：氾濫注意水位到達  
氾濫注意情報  
[土砂災害]  
気象：大雨警報

【警戒レベル3】  
高齢者等避難が発令

【警戒レベル4】  
避難指示が発令

【警戒レベル5】  
[浸水害]  
気象：大雨特別警報  
河川：氾濫発生  
氾濫発生情報  
[土砂災害]  
気象：土砂災害警戒情報  
記録的短時間大雨情報

【警戒レベル5】  
[浸水害]  
気象：大雨特別警報  
河川：氾濫発生  
氾濫発生情報  
[土砂災害]  
気象：土砂災害警戒情報  
記録的短時間大雨情報

◆テレビやラジオで気象情報(台風情報)を確認する  
◆避難先、移動手段、移動時間を再確認する  
◆避難するときに持っていくものを確認する(○をつける)  
・飲料水 ・食料品 ・替替え ・タオル  
・懐中電灯 ・携帯ラジオ ・電池 ・携帯充電器  
・通帳などの貴重品 ・マスク ・ウエットティッシュ  
・常備薬 ・その他( )  
◆避難しやすい服装に着替える

◆我が家が避難するタイミングは警戒レベル3  
◆高齢者など避難に時間がかかる人は避難を始める  
・どこに避難するか、家族や親戚に伝える。  
・(連絡する家族や親戚の電話番号： )

◆我が家が避難するタイミングは警戒レベル4  
◆危険な場所から全員避難する  
・近所の人に声をかけて一緒に避難する。  
・(声をかける相手： )

警戒レベル5になってからでは「逃げ遅れ」になるリスク大!  
全員が避難完了のタイミング

### ○その他 防災情報

・キキクル(危険度分布)災害(洪水、土砂災害)の危険度の高まりを確認できます



・茨城県河川情報 県内の河川の水位情報や、雨量情報などが確認できます



※お問い合わせは、茨城県防災・危機管理課または市町村防災担当部局まで